

## 会 告

去る六月十三日(木)に開催された昭和六十年年度春期定例理事会・評議員会において、次の案件が承認可決されました。

一、昭和五十九年度決算報告及び昭和六十年年度予算案

一、役員交替

(1) 評議員茨木慶三・西谷真治・山本四郎氏の退任。

(2) 理事に磯波護・河内良弘、評議員に浅香正・金関恕・村井康彦氏を選任。

(3) 常務理事に藤縄謙三・鎌田元一氏を選任。

なお旧常務理事小野山節・竺沙雅章の両氏は理事に復帰。

## 『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること

◇投稿受付原稿の種類、長さなど

◇研究論文・研究ノート

四〇〇字詰五〇枚程度

研究論文には四〇〇字以内の「要約」

と、「欧文要約」を添付のこと(研究

ノートには両方とも不要)

註は原則として各章末に入れること

◇学会動向・批判と反省

四〇〇字詰三〇枚以内

◇書評 四〇〇字詰二〇枚以内

◇紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇送り先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

## 編集後記

祇園祭も終わり、また暑い京都の夏がやってきました。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。第六八巻第四号をお届けします。最近の編集会議は論文、研究ノート原

稿の集まりもよく順調に進行しております。ただ、書評、紹介の部門は原稿が少なく、本号でも掲載するものがありませんでした。編集委員一同鋭意努力しておりますが、会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。次第です。

さて本号には西洋史から論説二、国史から論説一、研究ノート一、東洋史から研究ノート一が集まり、重厚な内容をもつものとなりました。充分に御検討下さい。また、例年の史学研究会大会(十一月二日、於楽友会館)の御案内も掲載いたしました。多数の御参集をお待ち申し上げます。

暑い季節会員の皆様がお元気に御活躍されることをお祈り申し上げます。(井)

一九八五年六月二五日印刷 定価一〇〇〇円  
一九八五年七月一日発行

史 林 第六八巻第四号(通巻第三三三号)

京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部

発行人 史 学 研 究 会

理事長 水 津 一 朗  
振替京都七一五二五番

印刷所

京都市下京区七条御所内中町五〇  
中村印刷株式会社